

UDC 629.4.027.3

E 4206

JIS

鉄道車両用ばね装置

JIS E 4206-1989

(1994 確認)

(2001 確認)

(2005 確認)

平成元年5月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

鉄道部会 車両基本専門委員会 構成表（昭和59年1月20日制定のとき）

	氏名	所属
(委員長)	副 島 廣 海	日本国有鉄道工作局
	山 田 幸 正	運輸省鉄道監督局
	小 林 弘 幸	運輸省鉄道監督局
	福 田 安 孝	運輸省鉄道監督局
	大久保 和 夫	工業技術院標準部
	濱 嶋 滋	川崎重工業株式会社
	露 木 益 郎	三菱電機株式会社
	寺 山 巖	三菱重工業株式会社
	松 隈 道 雄	東京芝浦電気株式会社
	磯 村 良 蔵	住友金属工業株式会社
	赤 羽 宏 之	株式会社日立製作所
	石 田 昌 彦	日本車輛製造株式会社
	岡 田 安 弘	近畿車輛株式会社
	松 井 康 平	名古屋鉄道株式会社
	小笠原 静 夫	社団法人日本鉄道車輛工業会
	金 辺 秀 雄	東京急行電鉄株式会社
	岩見谷 与志雄	日本国有鉄道技術開発室
杉 山 幸 雄	日本国有鉄道車両設計事務所	
小 林 善 一 郎	社団法人日本民営鉄道協会	
三 品 勝 暉	日本国有鉄道技術研究所	
(専門委員)	浅 田 時 則	社団法人日本鉄道車輛工業会
(事務局)	黒 河 亀 千 代	工業技術院標準部機械規格課
	武 藤 晃 雄	工業技術院標準部機械規格課
(事務局)	江 口 信 彦	工業技術院標準部機械規格課（平成元年5月20日改正のとき）
	牛 島 宏 育	工業技術院標準部機械規格課（平成元年5月20日改正のとき）

主務大臣：運輸大臣

制定：昭和 59. 1. 20

改正：平成 元. 5. 20

官報公示：平成 元. 5. 30

原案作成協力者：社団法人 日本鉄道車輛工業会

審議部会：日本工業標準調査会 鉄道部会（部会長 山之内 秀一郎）

審議専門委員会：車両基本専門委員会（委員長 副島 廣海）（昭和59年1月20日制定のとき）

この規格についての意見又は質問は、運輸省地域交通局陸上技術安全部保安・車両課（☎100-0013 東京都千代田区霞が関2丁目1-3）又は工業技術院標準部材料機械規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

鉄道車両用ばね装置

E 4206-1989

Spring Rigging for Railway Rolling Stock

(1994 確認)

1. 適用範囲 この規格は、鉄道車両に用いるばね装置（以下、装置という。）について規定する。

備考 この規格の中で { } を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

2. 種類及び記号 装置の種類及び記号は、表1のとおりとする。

表1 種類及び記号

種類			ばね記号	
金属ばね装置	軸ばね装置	単体ばね	AXS 1	
		二重コイルばね	AXS 2	
		三重コイルばね	AXS 3	
	まくらばね装置	単体ばね	BOS 1	
		二重コイルばね	BOS 2	
		三重コイルばね	BOS 3	
空気ばね装置	ペローズ形	1 段	450	1 B 450
			500	1 B 500
			550	1 B 550
			570	1 B 570
			600	1 B 600
		3 段上面下面板水平	450	3 BL 450
			500	3 BL 500
			550	3 BL 550
			3 段上面下面板傾斜	550
	600	3 BT 600		
	ダイヤフラム形	内筒外筒垂直	310	DCC 310
			360	DCC 360
			480	DCC 480
			520	DCC 520
			560	DCC 560
		内筒傾斜外筒垂直	620	DCC 620
			500	DTC 500
		内筒外筒傾斜	535	DTC 535
500			DTT 500	
560	DTT 560			
630	DTT 630			

備考 種類の数字は有効直径を mm で表したものを示す。

引用規格 及び 関連規格：23ページに示す。